

(報告)

丹後地域の府立高等学校の校名検討について

丹後地域の府立高等学校の校名検討の状況について、下記のとおり報告します。

平成 30 年 7 月 20 日

教育長 橋本 幸三

記

平成 32 年度から丹後地域において「学舎」を導入する高等学校及びフレックス学園構想に基づく新しい高等学校の校名について、下記のとおり意見聴取会議を設置し検討を進めていくこととします。

1 設 置

丹後地域の府立高等学校の校名の検討に当たり、有識者の意見聴取を行うため、「丹後地域の府立高等学校の校名に関する意見聴取会議」を設置する。

2 所掌事項

意見聴取会議委員は、丹後地域の府立高等学校の校名及びその他必要な事項について、意見を述べるものとする。

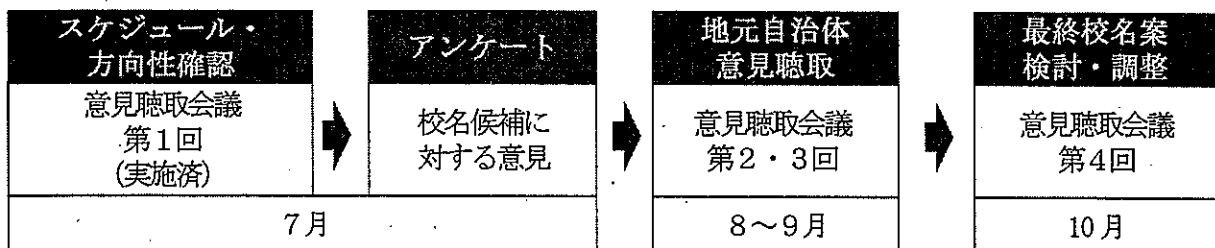
3 組 織

分野	人数	役職等	
学識経験者	1名	佛教大学教育学部教授	原 清治
保護者	1名	京都府立高等学校 PTA 連合会顧問	奥野 貴史
学校関係者	1名	府立高等学校長会長	山口 隆範

※その他、庁内関係者数名

4 第 1 回意見聴取会議概要（※詳細は裏面参照）

- ・「学舎」導入高校と新設校とは切り離して考える。
- ・「学舎」導入高校については、地元自治体の考え等を直接聞く機会を設けるとともに、地元の意見を聞くため、アンケートを実施する。
- ・新設校については、準備委員会からの説明の機会を設ける。



第1回 丹後地域の府立高等学校の校名に関する意見聴取会議概要

- 1 日時 平成30年7月10日(火) 9:00~10:00
京都国際会館会議場
- 2 出席者 委員 奥野 貴史 京都府高等学校PTA連合会顧問
原 清治 佛教大学教育学部教授
山口 隆範 京都府立高等学校長会長
教育委員会 前川教育監
相馬高校教育課高校改革担当課長、他事務局職員

3 概要

- ・「学舎」を導入する高校については、これからの子どもたちのことはもちろんだが、地域の方々が高校に持つ思いも重要であり、そうした思いを聞きながら、丁寧に検討していくことが必要であると考えます。フレックス学園構想に基づく高校については、清明高校の校名検討時に一定学校のコンセプト等を踏まえて検討するという考え方について整理がついているので、「学舎」導入高校と新設校とは切り離して考えるのが良い。
- ・地元の意見を聞くことはもちろん大切だが、あくまでもアイデアや考え方をお聞きするということにすべきであり、数の論理で決めていくというようなことはないようにしたい。アンケートを行うなどして、地元の方ならではの学校名にふさわしい由来のある地名などのアイデアがお聞きできると良い。
- ・これまで多くの学校統合が行われてきているが、校名にこだわりを持ってしっかりと議論してほしいと思うのは地域や卒業生の方々である一方、保護者や子どもは、校名よりもその学校がどのような教育をしてくれるのかに興味・関心が高い傾向にあると聞く。それぞれの高校の教育内容の充実をしっかりと進めることも必要である。
- ・今回、校名を検討する上で地元自治体からも意見を聞くべきだと思うが、校名のみならず、地元として、高校を活かした町づくりや育成したい人材についてどのような将来的ビジョンを持っているのかについても合わせてご意見を伺える機会があればと思う。
- ・新設校の校名の考え方は清明高校と同様に学校のコンセプトに基づくべきである。
- ・準備委員会から現在の検討状況を聞かせてもらう機会を設けてほしい。

4 意見を踏まえた今後の動き

- ・「学舎」を導入する高校については、地元自治体の考え等を直接聞く機会を設けるとともに、丹後地域の方々にアンケートを実施し広く意見やアイデアを募集する。
- ・新設校については、準備委員会からの説明の機会を設ける。

新しい学びの場である「学舎」を導入する府立高校の名称を検討しています。皆さんの御意見をお寄せください。

京都府教育委員会では、地域に府立高校を残し、学校・生徒・地域をつなぐ新たな高校として、「学舎」を平成32年度から導入することとしています。

「学舎」はこれまでの府立高校にはない新しい学びの場として、遠隔教育システムの導入、部活動や特別活動での連携をはじめ、これまで以上に府立高校の魅力を引き出すものとして進めていきたいと考えています。

この「学舎」を導入する<官津高校・加悦谷高校>と<網野高校・久美浜高校>の名称を、これからの丹後地域の高校教育を担う高校として、どのような名称にしていくのかを検討しています。

名称の考え方につきまして、裏面の項目に基づき、皆さんの御意見をお寄せください。

【意見募集期間】平成30年8月10日（金）まで ※郵送の場合、当日消印有効

【公表資料】・「丹後から未来を創る」（平成30年3月配布） ・丹後地域における府立高校の在り方検討
※京都府教育委員会のHP (<http://www.kyoto-be.ne.jp/>)で、これらの資料を公表しています。

切 取 線



消印有効期間
平成30年8月
10日まで

京都市上京区下立売通新町西入数ノ内町

京都府教育庁指導部
高校教育課高校改革担当 行



切 取 線

郵便はがき

6	0	2	8	7	9	0
---	---	---	---	---	---	---

【提出方法】

- 郵便 左の切取線で切り取りの上、裏面に記入いただき、お送りください。※切手は不要です。
- 電子メール 京都府教育委員会HP (<http://www.kyoto-be.ne.jp/kyoto-be/>) からダウンロードした様式に記入いただき、次の電子メールアドレスにお送りください。 koukyou@pref.kyoto.lg.jp
- FAX 裏面回答欄に記入いただき、そのままのFAX番号にお送りください。 **075-414-5847**

【お問い合わせ先】

京都府教育庁指導部高校教育課
電話：075-414-5857 FAX：075-414-5847
E-mail：koukyou@pref.kyoto.lg.jp

京都府教育委員会

— 新しい学びの場 「学舎」を導入する府立高校の名称の考え方 —

次の項目について、回答内容を「回答欄」に記入してください。 ※提出方法は表面のとおりです。

- 1 お住まいの地域を次の①～⑤から選択してください。⑥その他(お住まいの市町村名を記入してください。)
- 2 お答えいただいた方を次の①～⑦から選択してください。
- ①小学生又は特別支援学校小学部生 ②中学生又は特別支援学校中学部生
- ③高校生又は特別支援学校高等部生
- ④小学校又は特別支援学校小学部保護者 ⑤中学校又は特別支援学校中学部保護者
- ⑥高校生又は特別支援学校高等部保護者
- ⑦その他(〇〇高校卒業生、地元住民など記入してください。)
- 3 名称(校名及び学舎名)の考え方についてご意見を記入してください。

(「回答欄」に記入してください。)

- 4 具体的な名称の考え方について、AまたはBを選択してください。(「回答欄」の記号に○をつけてください。)
- Aの場合、それぞれの名称について①又は②、③又は④を選択してください。(「回答欄」の番号に○をつけてください。)
- Bの場合、それぞれの学舎名について①又は②、③又は④を選択してください。(「回答欄」の番号に○をつけてください。)
- なお、それぞれを選んだ理由も記入してください。

A どちらかの高校名をそのまま使用し、それぞれの「学舎」について、現名称を通称名として使用する。

→ 宮津高校・加悦谷高校

① <宮津高校宮津学舎・宮津高校加悦谷学舎>

② <加悦谷高校宮津学舎・加悦谷高校加悦谷学舎>

→ 網野高校・久美浜高校

③ <網野高校網野学舎・網野高校久美浜学舎>

④ <久美浜高校網野学舎・久美浜高校久美浜学舎>

B 高校名は新名称とする。

【回答欄】

1 _____ 2 _____

4 **A** → ① 又は ② ③ 又は ④

<理由>

宮津高校・加悦谷高校 → _____ 高校 () 学舎

<理由>

B →

網野高校・久美浜高校 → _____ 高校 () 学舎

<理由>

ご協力ありがとうございました。